



市議会だより

しほり

第66号



■発行:令和3年2月19日

## 12月定例会

- P.2 主な議案
- P.3 補正予算
- P.4 議決結果
- P.5 一般質問
- P.12 来年度から「市民と語る会」開催
- P.13 傍聴者アンケート
- P.15 議会活動1年間





# 令和2年12月 定例会

●会期/11月30日～1月8日【40日間】

議案18件を審議しました。

## 主な議案

議案第165号

庄原市公立学校設置条例の一部を改正する条例

庄原市立口南小学校及び庄原市立口北小学校を廃校とし、庄原市立口和小学校を新たに設置するため、所要の改正を行おうとするもの

〔付託先〕

教育民生常任委員会

〔委員長報告〕

12月1日に委員会を開催し、担当課から追加説明を受け質疑を行った。

主な質疑としては、「今後同様の事例が出た場合もこのような扱いになるのか」、「全国的に一度休校になった学校が再開された事例はあるのか」、などがあつた。

主な意見としては、「提案された条例の文言では、提案理由の真意が伝わりにくく、

口北小学校のみ廃校にするとの誤解を招く恐れがある。口南小学校及び口北小学校を廃校から削り、新たに口和小学校を加える内容とすべきではないか」、「十分とは言えない部分もあるが、この提案理由の内容も含めると理解が得られるのではないか」、などがあつた。

審査の結果、賛成多数により可決すべきものと決した。

▽原案可決

議案第158号

庄原市職員の給与に関する条例及び庄原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

令和2年人事院給与勧告に伴う国家公務員の給与の改定状況を勘案し、一般職の職員の期末手当支給割合の改定のため、所要の改正を行おうとするもの

▽原案可決

## 議案第165号 庄原市公立学校設置条例の一部を改正する条例の審議において討論がありました。

### 反対討論

20番 谷口隆明 議員

本条例改正案に賛成しなかった理由は、市立学校適正規模・適正配置基本計画そのものに一貫して反対してきたからである。新型コロナを体験して求められるのは、競争主義的な教育、切磋琢磨ではなく、よい意味での競い合いと助け合い、お互いに育ち合うような少人数教育だ。GIGAスクール構想などの条件を生かせば十数人の学校でも十分やっていける。再配置計画は一旦白紙に戻し、関係者の意見をよく聞いて再検討すべきだ。

第2に、条例改正案の提案の仕方の問題である。提案説明では、口南小と口北小の両校を廃校とし、新たに口和小を設置すると言いながら、条例改正案は、口南小を口和小に改め、口北小を削りとなっている。提案理由と一緒に見ればわかると言われるが、条例改正案だけでも中身が正確にわからなければならない。

3点目に、休校措置の問題である。それぞれの地域で苦渋の決断をしたのに、結果は休校措置で通学区の変更措置だけで本当によいのか。これから先の学校再開を前提とした休校ならよいが、そうでない以上は廃校にすべきであるということを訴えて、反対の討論とする。

### 賛成討論

6番 近藤久子 議員

審査した委員会において、担当課から丁寧な説明を受けた。二つの学校を廃校として新しい学校名でのスタートは、庄原市の合併後初めてのことであり、この間、地域や保護者の皆さんが校歌や制服を初め、さまざまな議論を大変長い時間を費やしてこられたことは聞き及んでいる。条例の文言に関して、口南小の校舎を利用して口和小となり、条例改正上、住所の部分は同じになるもので、学校名の箇所だけを変える形となっている。庁内の法制部門と協議する中で、条例改正の際には例規整備の観点からも最小限の改正の文言とすることが大原則であるとの説明を受け、理解をした。また、提案理由を踏まえる中での審査であり、委員会において、私も含め賛成多数の結果となった。この条例案は可決すべきである。以上で賛成討論とする。

# 一般会計・特別会計等補正予算



## 令和2年度一般会計補正予算

議案番号	予算名	補正額(追加)	補正後の予算額
167	一般会計補正予算(第10号)	2億1,305万2千円	381億8,755万5千円
175	一般会計補正予算(第11号)	1,044万8千円	

### ●一般会計の主な補正内容

議案番号	事業名 補正額	主な内容
167	生活交通路線確保事業【2,494万3千円追加】	新型コロナウイルス感染症の影響による運賃収入の減などによるバス運行補助金の増額
	国際友好都市交流事業【1,297万5千円減額】	中国四川省綿陽市との友好提携30周年記念事業及び綿陽市青少年訪問団事業について、新型コロナウイルス感染症感染拡大による開催延期による減額
	現年公共災害復旧事業【1億3,028万円追加】	令和2年7月豪雨災害に係る復旧工事
	小学校事務局管理事業【1,497万9千円追加】	永末小学校及び板橋小学校の特別支援教室追加のための改修工事や新設の小学校として活用する口南小学校の改修など
175	ひとり親世帯臨時特別給付金事業【1,044万8千円追加】	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の一環として、低所得のひとり親世帯へ臨時特別給付金を再支給するもの

## 令和2年度特別会計・企業会計補正予算

議案番号	特別会計	補正額	補正後の予算額	
168	歯科診療所特別会計補正予算(第2号)	46万円追加	2,382万1千円	
169	休日診療センター特別会計補正予算(第2号)	46万円追加	1,350万1千円	
170	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	80万5千円追加	38億7,793万9千円	
171	国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第2号)	46万円追加	7,599万7千円	
172	介護保険特別会計補正予算(第2号)	4,500万4千円追加	65億1,010万4千円	
173	介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	23万9千円減額	5,575万6千円	
174	国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)	(収益的収入)	2,666万1千円追加	14億3,225万2千円
		(収益的支出)	26万5千円追加	14億535万6千円
		(資本的収入)	544万3千円追加	9,414万2千円
		(資本的支出)	623万4千円追加	1億2,817万9千円

### 予算決算常任委員会 委員長報告(概略)

12月3日に委員会を開催し、担当課ごとに説明を求め、議案第167号から第174号までの8議案を審査した。

議案第167号では、多面的機能支払交付金の市負担分の返還理由、確定申告に係る時間外勤務手当の予算要求の時期とその業務執行体制、生活保護の扶助費における新型コロナウイルス感染症の影響、子育て世帯応援臨時特別給付金における対象世帯数の想定と実績の差の理由についてなどの質疑があった。

議案第168号から第173号についての質疑はなく、議案第174号では、西城市民病院職員の間外勤務手当の予算措置について質疑があった。

採決の結果、全ての議案について、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決した。

新型コロナウイルス感染症の長期化が懸念される状況となっている。引き続き、感染拡大防止に努められ、市民生活及び市内経済を守るための積極的な支援策に取り組みられることを望み、委員長報告とする。

令和2年12月

# 定例会議決結果

## 賛成全員のもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
11月30日	議案	158	庄原市職員の給与に関する条例及び庄原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		159	庄原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		160	庄原市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		161	庄原市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		162	庄原市地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		163	庄原市介護保険条例及び庄原市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		164	庄原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
		166	広島県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び広島県市町総合事務組合規約の変更について	原案可決
12月21日	議案	167	令和2年度庄原市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
		168	令和2年度庄原市歯科診療所特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		169	令和2年度庄原市休日診療センター特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		170	令和2年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		171	令和2年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第2号)	原案可決
		172	令和2年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		173	令和2年度庄原市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		174	令和2年度庄原市国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)	原案可決
		175	令和2年度庄原市一般会計補正予算(第11号)	原案可決

## 賛否の分かれたもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果	賛成(人)	反対(人)	岩山 泰憲	田部 道男	山田 聖三	五島 誠	政野 太	近藤 久子	堀井 秀昭	宇江田 豊彦	福山 権二	吉方 明美	林 高正	桂藤 和夫	徳永 泰臣	坂本 義明	岡村 信吉	赤木 忠徳	門脇 俊照	竹内 光義	横路 政之	谷口 隆明
12月21日	議案	165	庄原市公立学校設置条例の一部を改正する条例	原案可決	15	4	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×

(表示例) ○…賛成 ×…反対 棄…棄権 議長…議長職



# 一 般 質 問

12月定例会では、13名が一般質問を行いました。  
要旨をお伝えします。



**答** 展示品の多くは、大手電機メーカーの技術者であった館長が寄贈された電化製品を自ら修理したものとなっており、その技術を生かしてラジオ工作教室を開くことや機器の復活方法を紹介するなど、ものづくりの楽しさや科学技術への関心を高めることができる事業も実施している。今後は、資料館の特徴である「動態展示」を活かした企画や新しい技術も取り入れた機器などと比較展示する内容も検討したいと考えている。施設整備については、老朽している箇所の修繕やセキュリティ対策など、計画的に行うことを検

**問** 口和郷土資料館における、今後期待される事業内容と、施設整備と運営の計画について。



こんどう ひさこ 議員  
近藤 久子

「全国に誇れる市民の博物館・資料館」に向けた取り組みについて

**問** 児童発達支援センターの設置について。

**答** 本市では、令和2年度末までに、市内または圏域内に児童発達支援センターの設置を検討することとしている。これまで、市内障害児入所施設に対し、児童発達支援センターの機能を担っていただくよう協議してきたが、センターの要件である保育所等訪問支援サービスを行う専門職の確保が課題となっている。引き続き、関係機関と連携し、圏域での設置に向けて検討していく。

発達障がいのある子どもへの支援について

討している。また、運営については、現在週3日の開館となっているが、開館日に関する来場者のニーズ等を把握するとともに、施設での講演や活動を含めて、運営の仕方について研究していく。

その他の質問

○庄原市民会館・庄原自治振興センター改修時における、事務所と生涯学習の活動拠点について



こしま まこと 議員  
五島 誠

令和3年度予算編成に向けて

**問** ①庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画の見直しを検討するとともに、GIGAスクール構想などを踏まえて、本市の公教育の魅力化・ブランド化を図ることについて。②子育て世代のセーフティネットづくりを進めるとともに、子育て支援施策の更なる充実を図ることについて。

**答** ①学校適正規模・適正配置基本計画については、対象校の保護者や地域の方々との協議を重ね、その必要性や将来を担う子供たちに培う力のことなどについて理解いただきながら推進していく。また、GIGAスクール構想は、対面授業の中でICT機器を有効に活用することを中心とし、どの教科で、どのように活用するのか、二斉学習や個別学習、協働学習などの様々な学習形態において、学習目標の達成に向けた

授業づくりを研究する必要がある。効果的な活用方法を研究し、授業づくりに工夫を重ねることで、各教科の力や情報活用能力を高めるとともに、意欲的な授業にもつながっていくと考える。さらに、教育内容や活動が広がり、深まっていくことも期待できる。今後も効果的なICTの活用について検討を行い、本市の目指す教育を推進していく。②本市では、既存の子育て支援センターに加え、令和2年4月に子育て世代包括支援センター「ほのぼのネット」を設置し、新たな体制で相談支援を行っている。また、新生児訪問や乳幼児家庭全戸訪問等により、子育て家庭の実態把握を行うとともに、電子母子手帳などを活用した制度の周知に努めている。これまで子育て支援策として、出産祝金の支給、産科医療の再開、庄原市子ども未来広場の整備、保育料の減免などに取り組んできた。昨年3月に策定した「第2期庄原市みらい子どもプラン」では、病児・病後児保育の実施など20の重点項目を中心とした子育て支援策の推進を図ることとしており、引き続き、プランに位置づけた施策に取り組み。



いわやま やすのり 議員  
岩山 泰憲

水道料金の引き下げと水道組合等への対応について

**問** 本市の水道料金は県内でも高い方である。一方で、毎年の収支は黒字であり、料金の値下げを行うべきである。また、市内には未整備の地域があるほか、かつて作られた水道組合への対応という課題がある。水道組合で整備した施設は、市水道に位置付け、住民負担を少なくすべきと考えるが、市長の見解を伺う。

**答** 水道事業経営戦略の推計において、水道施設の老朽化による更新費用の増加が見込まれ、今後、財源が急激に減少する見込みである。平成28年度の水道料金改定後は3年ごとに料金改定の必要性を検討することとしており、引き続き、適正な料金で供給していく。水道組合への対応について、水道組合などの施工による共同給水管の維持管理に係

る費用は水道組合が負担することとしている。ただし、市給水条例施行規程に定める条件の共同給水管においては市の配水管とすることが可能である。

休暇村吾妻山ロッジの実質閉館について

**問** 吾妻山の国定公園内にある休暇村吾妻山ロッジが実質閉館となる。この地域は県有地となっており、今後、遊歩道やトイレ、芝生、キャンプ場などの管理を県等に要望すべきであると考え、市長の見解を伺う。

**答** 現在、建物等の取扱いは、施設運営者である一般財団法人休暇村協会が施設譲渡に向けた取り組みなどを進めている。市は協会の対応を注視しつつも民間の利活用に期待しており、今後とも広島県と情報共有・連携を図り必要な協力を行う。

その他の質問

○イノシシ被害から農家を守るために  
○小中学校の統廃合計画の見直しについて



# 一般質問



かどわき としてる  
門脇 俊照 議員

株式会社比婆の森の  
自己破産手続き開始決定後の  
総括、対応について

**問** 市長、副市長は第3セクター比婆の森の取締役でありながら同社の破産危機の察知、救済が出来なかったのか伺う。

**答** 経営状況が非常に悪いということとは承知していた。昨年度の雪不足によりスキー営業がほとんどできず、有利な融資制度を設けていたたくよう県へお願いし、借り入れ等を行ってきた。さらに追い打ちをかけるように、新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言が発令される等で1ヵ月休業したことも把握していた。そうした状況を乗り越えるために、役員会、総会等を重ねて何とか乗り切ろうということを確認していたが最終的にはこのような事態になってしまった。

かんぼの郷庄原について

**問** かんぼの郷庄原の譲渡を受けた場合、運営はどうするのか、老朽施設の改修にどれだけの必要なのかなど取得した場合の運営アクシヨンプランが未だに示されないのはなぜか伺う。

**答** 以前にも、判断材料やアクシヨンプランまで出すべきではないかと言われたが、まだ取得するかどうかの判断を示していない。今回、コンサルに依頼をして経営分析をしている。取得の判断については、皆さん方の理解が得られるように情報を積み重ね、その後お示ししたいと考えている。今はしっかり情報や資料を集めて、一緒に協議したいという思いである。



あかぎ ただのり  
赤木 忠徳 議員

地域の課題や住民の皆さんの求めていることを把握して、政策を実施しているのか

**問** コロナ禍への対応に伴う財政調整基金の取崩しにより、大型施策も打てない状況であるが、第2期長期総合計画に基づいて、総合的な見地から計画的に確実に目標に向かって政策を実施していかなければならない。特徴ある地域を形成するには、支所長を中心に地域の課題、地域の皆さんの願い、地域の活性化を集約する体制づくりが重要であるが、どのような地域課題や願いがあるのか伺う。

**答** 第2期長期総合計画では、「美しく輝く里山共生都市」の実現を将来像に掲げ、それぞれの地域の資源や魅力、特色を活かす取り組みを進めてきた。こうした取り組みについては、市全域を

俯瞰した考えの下、本計画にお示した政策・施策体系に沿った形で事務事業として整理し、中期的な視点により「長期総合計画・実施計画」として取りまとめ、地方自治の本旨に基づく予算案として編成した上で、議会への上程を経て議決をいただいている。この具体化の過程においては、人口減少をはじめ、市全体で解決に取り組むべき課題だけでなく、各地域における個別・固有の課題についても地域の皆さんのご意見等を伺い、地域の実態を把握する中で、その解決を図っている。

その他の質問

○「ここに住みたい！庄原に住みたい！」の基本となるインフラストラクチャーの整備を  
○ふるさと納税やクラウドファンディングを利用して活性化を



まさの 政野 議員  
ふとし 太 議員

本市の都市計画について

**問** 県は現在、目指すべき将来像を定め、県全体の都市計画区域マスタープラン策定を進めている。本市も人口減少、超高齢化社会、気候変動に伴う防災などの新たな視点で本市の未来像である庄原市都市計画マスタープランの策定が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

**答** 本市においても広島県の備北圏域都市計画マスタープランを基に、人口減少、災害の激甚化、デジタル技術の進展、新型コロナウイルス危機に伴う「新しい生活様式」への対応など、本市を取り巻く状況を踏まえ、令和3年度から新たな都市計画マスタープランの策定に取り組む。今後、庄原市の20年後を見据えた都市計画に関わる施策を総合的かつ体系的に展開していくための指針となることか

ら、中長期的な視点に立ち、市民生活・産業の充実・観光振興の基となるよう、市民のみなさんと協働し、意見を伺いながら計画の策定に取り組んでいく。

民間のノウハウを活かしたまちづくりについて

**問** 行政負担を軽減し、市民福祉の向上を図るには「民間提案制度」の活用が効果的である。まずは地域の企業、金融機関、行政、市民でPPP・PFI地域プラットフォームを形成し、官民対話の場をつくるべきと考えるが、市長の見解を伺う。

**答** 本市においては、これまでも多くの分野で市民・各種団体等との対話を重ね、幅広い意見を頂き、市政運営に努めてきた。議員ご提案の「地域プラットフォーム」の形成や、その後の「民間提案制度」の導入については、地域経済の好循環を実現し、公的負担の抑制を図る官民連携の新たな形態の1つとして研究を進めていく。



たに ぐち 谷口 議員  
たか あき 隆明 議員

医療・介護について

**問** ①新たな財源が必要になるが、子ども医療費への助成を近隣市町並みの18才までに拡充すべきではないか。②国民健康保険特別会計の財政調整基金の活用について新年度の方針を伺う。③第7期の介護保険特別会計の決算剰余金の状況から見て、第8期の介護保険料の引き上げは行うべきではないと考える。同時に介護保険財政への国庫負担の割合の大幅な引き上げを求め実現しないと、高齢化先進地の本市の介護保険財政の運営は難しくなるのではないか。

**答** ①医療費の助成については、中学校を卒業する時期になると、体格や体力、免疫力の向上が見込まれ、受診の機会も減少することなどから、さらなる対象年齢の拡大の必要性は低いものと考えている。全国的な少子化が進行す

る中、国において新たな保障制度として検討されるべきものと考えており、制度の創設を国に要望していく。②国民健康保険財政調整基金の今後の活用については、保険料率が統一されるまでの間、不測の事態が生じた場合の税収不足を補填する財源を確保した上で残額を活用することとしている。方針としては、令和6年度からの準統一保険料率への移行に向け、保険料の激変緩和措置等に活用することを検討している。③現在、令和3年度からの介護保険料の算定作業を行っており、今後、算定した介護保険料を第8期庄原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定推進委員会でご意見をいただき、3月定例会へご提案させていただきます。また、第1号被保険者の保険料負担が過重とならないよう、介護保険法に定められている国庫負担割合の引き上げ等について、国への要望を継続するとともに、引き続き、介護保険財政の健全化に努める。

その他の質問  
○2021年度予算編成方針について  
○新型コロナウイルス感染症対策について

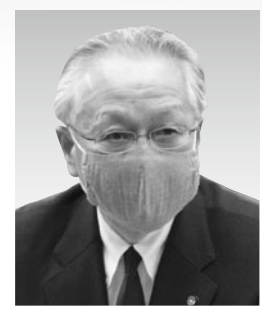


一般質問

【答】和牛飼育の中で給餌についての労力軽減は経営を続けていく上での課題として認識している。

【問】これからの和牛振興の推進は、各事業の連携にある。牛を飼うことを続けたいが、年をとり作業がしんどくなったとか、新たに牛を飼ってみたいが、施設設備等、初期投資に多大な経費がかかり、なかなか決心がつかないといった声を聞く。牛を飼うことの大変さは、安定した餌の確保にあるのではないか。この解決策として、休耕田や里山を利用した放牧による飼育を行い、冬場の餌の確保は、和牛TMRセンターの飼料を利用する等、各種事業を連携させ、和牛飼育の労力軽減を図る取り組みが重要であると考え、市長の見解を伺う。

放牧を基本とした和牛振興について



やま だ せいそう 山田 聖三 議員

TMRの利用による肉質の均一化や給餌労力の軽減はそういった畜産農家の課題解決のために取り組みを進めてきたものである。市内の和牛農家は、繁殖、肥育、それを合わせた一貫経営の農家、また、経営規模や経営方針の違いなど、様々な形態があり、それぞれの経営形態に合った取り組みが必要である。農家の経営形態ごとに有効な施策を探りながら、生産基盤の強化や耕畜連携の推進、酪農経営との連携による計画的な和牛子牛生産の拡大を図る。このためにも、比婆牛が県内に数々あるブランド牛の中でも、トップブランドとして広く認知されるよう、G1も活用しながら取り組むとともに、比婆牛を中心とした和牛産地庄原全体の知名度の底上げと、比婆牛素牛の価格が高値で取り引きされることにより、農家所得と生産意欲の向上につなげていきたいと考えている。

その他の質問

○在宅を基本としたまちづくりについて

学校における働き方改革 取組方針について



ふく やま けん じ 福山 権二 議員

【問】庄原市教育委員会が本年度に作成した「学校における働き方改革取組方針」による具体的な成果と課題について伺う。

【答】本年度は4月、5月の臨時休業や、中学校の部活動の制限もあり単純に比較はできないが、10月までの状況では、勤務時間外の在校時間の月ごとの平均は8割の学校が目標としている45時間以下となっており、昨年度と比べると改善傾向にある。様々な取り組みにより、少しずつ在校時間は減少してきているが長くなっている場合もある。例えば、朝の勤務時間開始前、早くから出勤していること、生徒指導に関わり保護者や関係機関と対応していること、教材研究や部活動の指導などがある。今後も、毎月の各学校の在校

時間について把握し、引き続き、教職員が子供の指導や教育活動に意欲をもちつつ、在校時間の縮減につながる取り組みに努める。

庄原市職員に関する働き方改革について

【問】新型コロナウイルス感染症に伴い、西城市民病院では職員の勤務状況は厳しさを増していると思うが、同病院職員の労働時間管理はどのようにされているのか伺う。

【答】勤務時間の管理については、時間外勤務、休日出勤、有給休暇の取得等について所長が把握し、特に時間外勤務が突出している職員については面談の上、個別の対応や部署内で調整を図るなど、適切な職場環境の保持に努めている。加えて、毎月開催する安全衛生委員会においても、新型コロナウイルス感染症対策について協議し、職員の健康管理に努めている。



よし あき 議員  
坂本 義明

JR備後庄原駅周辺の  
活性化について

**問** ①交通発着拠点としての備後庄原駅前の活用策について伺う。②備後庄原駅周辺のにぎわいづくりに関する協議はどの部署が担当し、どのようになされているのか。

**答** ①11月2日から駅前ロータリーの供用を開始し、供用開始セレモニーでは、庄原駅周辺地区まちづくり協議会主催の「駅前フェスタ」や芸備線対策協議会主催の「芸備線おもてなしイベント」を同時開催し、市内外から多くの方が駅前に集まり、楽しんでいただいた。その後も、12月6日まで運行していた「快速庄原ライナー」の到着に合わせて、庄原DMOによる庄原周遊観光ツアーの企画や、関係団体の協力による臨時観光案内所の設置、市街地循

環バスの臨時運行などが行われ、観光や二次交通であるバスとの連携など、交通発着拠点としての活用が始まったところである。今年度末には駅前公園も完成し、今後、さらに多くの皆さんに親しまれるエリアとなるよう、関係団体と連携し、活用を図っていく。②備後庄原駅周辺の活性化については、にぎわいのあるまちづくりなどを目的に設立された「庄原駅周辺地区まちづくり協議会」が当地域の中心となって取り組んでおられる。本市も事務局として、協議会主催の「駅前フェスタ」などのイベント開催や駅舎の利用促進に係る様々な取り組みに協力している。今後も行政だけではなく、商工会議所および庄原DMO、庄原駅周辺地区まちづくり協議会などと官民協働で、にぎわいのあるまちづくりに取り組んでいく。



駅前フェスタの様子

株式会社比婆の森の自己破産  
手続き開始による影響について



おみ ひろ 議員  
徳永 泰臣

**問** 県は、比婆の森の自己破産手続き開始決定を受け、施設の維持管理を市や地元業者に委託し、専門家の意見を聞いて経営状況の分析と改善策を検討してきたとのことであるが、市としては、比婆の森の自己破産手続き開始決定に関して検証は行っているのか伺う。

**答** 株式会社比婆の森は設立以来、概ね安定した経営を続けてきたが、平成27年度以降の暖冬に伴う雪不足と豪雨災害等の影響を受け、経営状況が厳しくなり、平成30年度に経営健全化方針を策定した。平成30年度決算では単年度収支で利益を計上し、令和元年度においても12月までは概ね計画どおりであったが、方針策定時には想定しえなかった新型コロナウイルス感染症の影響

に加え、雪不足により厳しい経営状況となった。

比婆山連峰の活用について

**問** ①本市の比婆山神話はあまり広まっていないと思うが、今後の取り組みについて伺う。②比婆山御陵の門梅(もんどが)やイチイ群生林等の保存について伺う。

**答** ①平成28年度から比婆いざなみ街道物語事業に取り組んでおり、日本誕生の女神の発刊や街道への誘導看板設置、マラニック大会の開催などに取り組んできた。また、庄原観光推進機構によるトレッキングツアーや沿線の古民家宿泊施設に多くの方が訪れている。こうした取り組みから定住に結び付けるために、多様な資源をつなぎ活用する一体的な事業を展開する。②「門梅」を含むイチイ群の保存については、国の国定公園地内であるため文化庁や広島県と対応協議を続けている。今後も専門家の意見を伺いながらイチイ群の保存に努めていく。

その他の質問  
○かんぱの郷庄原の今後の活用方針について



一般質問

**答** 官民のそれぞれが提案する重点事業から優先度や効果性を踏まえ、事業化に向け5事業に絞込みを行っている。また各事業のワーキンググループにおいては、官民連携によるそれぞれの役割を担う中で事業の具現化に向け検討を重ね、「移住・定住トータルサポート事業」「外国人グローバル人材確保・定着促進事業」など、4事業については具体的な取り組みとして順次事業を実施している。

**問** 平成30年10月22日、庄原の人口問題をとことん考える民間会議の佐々木会長から木山市長に108項目にわたる人口減少対策の提案書が提出されたが、その後の取り組みの状況を伺う。

人口減少問題について



はやし たかまさ 議員 林 高正

庄原市の教育の  
魅力化について

**問** ①本市の教育の魅力、他市にない特色ある教育は何か。②まちづくりの観点から、庄原で教育を受けたいと思わせる魅力は何か。

**答** ①ふるさとの学びが原動力となるような教育の創造に取り組んでいる。例えば、恵まれた自然環境の中で行う体験活動や探求心を高める科学研究などにも力を入れており、子供たちがやがてふるさとで活躍する、あるいはふるさとのことを思い行動する人材の育成に力を入れている。②児童・生徒が故郷庄原での暮らしの中で、故郷に誇りを抱き、地域とのふれあいを通じて「将来このまちに貢献したい」という想いが醸成できるような教育環境が「まちづくり」における重要な要素の一つであり、地域コミュニティの維持・発展や、次世代を担う人材育成につながると認識している。

その他の質問  
○旧庄原市内のまちづくりについて

本市の林業振興策について



けいとう かずお 議員 桂藤 和夫

市立学校適正規模・  
適正配置基本計画について

**問** ①今後の林業振興策のビジョンについて所見を伺う。②「22世紀の庄原の森林(もり)づくりプラン」策定の進捗状況について伺う。

**答** ①平成25年度に「庄原市林業振興計画」を策定し、本市の林業資源の有効活用を目指す方向性を示している。さらに令和元年度、22世紀の庄原の森林(もり)ビジョンを策定し、「多様な森林整備と再造林システムの構築」、「庄原材活用システムの構築とブランド化」及び「若年層や子どもたちの働く、学ぶ機会の充実」を取り組むべき戦略として掲げている。②令和元年度に策定した「22世紀の庄原の森林ビジョン」の理念実現にかかるとして本年度末までには策定し、冊子の配布やホームページを通じて公表する予定としている。

**問** ①本市は長い歴史の中で学校の統廃合を繰り返し、それが地域の疲弊、衰退の要因の一つであると思うが、これに対する認識を伺う。②市立学校適正規模・適正配置基本計画」について、一部地域で全く進んでいない状況にあり、教育委員会へのみの対応では前に進まないと思うが、この件についてどう認識されているのか、所見を伺う。

**答** ①学校の統廃合と人口減少との関係性について、統廃合前の学校区ごとに年少人口の推移を見たところ、学校がない地域でも増加している地域もあることから、学校の統廃合が必ずしも地域の疲弊、衰退につながっているものではないと認識している。②栗田小学校では、計画についての窓口と主張されている田森自治振興区役員の方に説明の機会を拒否され続け、保護者の考えが把握できていない。今後子どもたちの教育環境づくりを中心に考え、引き続き粘り強く取り組んでいく。



# 来年度から「市民と語る会」を開催します!

議会運営委員会では、議長諮問に基づいて、議会報告会のあり方について検討を重ねてきました。その結果、「議会報告会」を「市民と語る会」にあらため、市民の皆さんとの意見交換に重点を置いた内容で来年度から実施することとなりました。  
その内容についてお知らせします。

**1. 趣 旨** 市民の皆さんの多様なご意見・要望等を把握し議案等の審査に活用し、政策へ反映させるためには、積極的な市民参加を求めていくことが重要であり、市民意見の聴取と意見交換を図る具体的な場として、「市民と語る会」を設ける。

**2. 実施方法**

<b>開催回数</b>	自治振興区単位、市内の学校・事業活動等を行う団体での開催、年1回程度
<b>時期</b>	7月に固定せず、様々な時期の開催を検討

**内 容**

- ①開催日程等  
・開催日程・会場は、班の代表者と自治振興区または学校・団体等の代表者で協議・決定  
・開催時間は1～2時間程度とし、平日または休日、日中・夜間など多様な条件での実施を検討
- ②内容  
・前年度の市民と語る会で出された市民の意見・要望等への対応状況の報告  
・開催会場ごとにあらかじめ設定されたテーマに関する意見交換(テーマは班の代表者と自治振興区または学校・団体等の代表者で協議・決定)
- ③班の編成と運営  
・全議員で5人単位の4班を編成し、班ごとに司会進行、報告者等役割分担を行い運営

**3. 報告と公表**

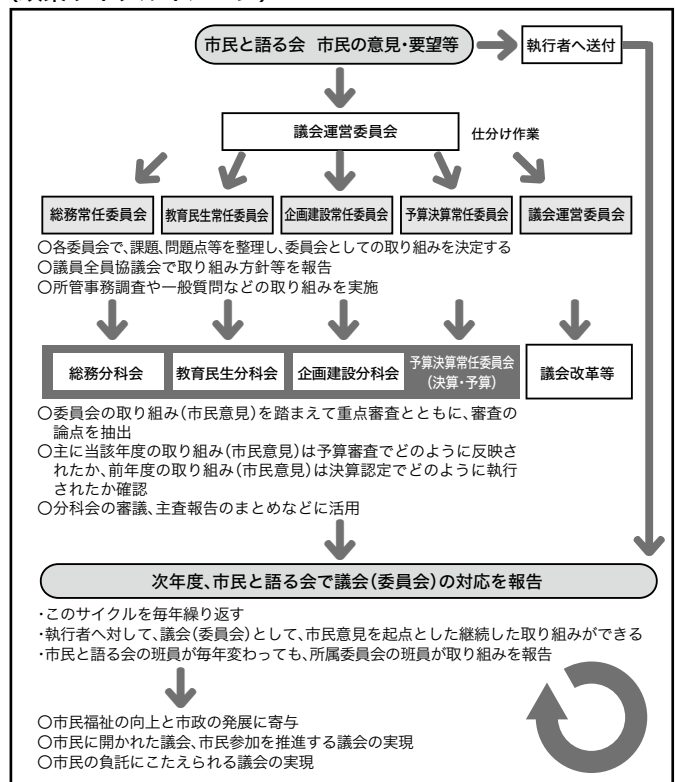
- ①市民と語る会終了後、概要、成果等を班の代表者が報告書にまとめる。(報告書は市議会ホームページへ掲載)
- ②市民と語る会で出された市民の意見・要望等を取りまとめて、「庄原市議会市民意見の政策サイクル(※)」により対応する。
- ③前項の政策サイクルの対応を、次年度の市民と語る会で報告する。

## ※【庄原市議会市民意見の政策サイクル】

### 【政策サイクルの流れ】

- (1)市民と語る会を開催し、「市民の意見・要望等」を報告書へまとめる。
- (2)「市民の意見・要望等」は議会運営委員会で整理し、4常任委員会と議会運営委員会へ仕分けを行う。「行政への市民の意見・要望等」を執行者へ送付する。
- (3)各委員会で、「市民の意見・要望等」について議論を行い、問題点、課題等を整理し、委員会として取り組む方針を決定する。
  - ①所管事務調査(閉会中の継続調査事項、執行者の説明、参考人招致等)とする
  - ②委員会として、一般質問を実施
  - ③執行者へ資料要求を行う
  - ④意見書や決議の発議
  - ⑤委員会(議会)としては対応しない など
- (4)議員全員協議会で各委員会の取り組み方針を報告
- (5)決算審査の準備  
前年度の(3)の取り組みを踏まえ、予算決算常任委員会の分科会で決算における重点審査項目と審査の論点を抽出(方針を決定)する。
- (6)9月定例会(決算認定の審査、一般質問等)
- (7)12月定例会(一般質問等)
- (8)予算審査の準備  
当該年度の(3)の取り組みを踏まえ、予算決算常任委員会の分科会で予算における重点審査項目と審査の論点を抽出(方針を決定)する。
- (9)3月定例会(予算審査、一般質問等)
- (10)市民と語る会で、前年度の「市民の意見・要望等」について、執行者の対応状況とともに、各委員会の取り組みについて報告。(報告書の作成)

### (政策サイクルイメージ)





# 傍聴者アンケート

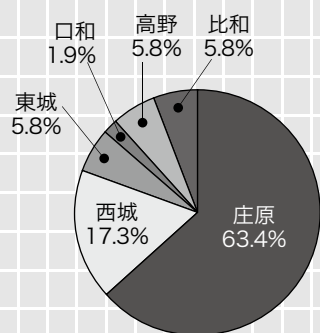
市民の皆さんに議会を知っていただき、より身近に感じていただけるよう、議会の充実に向けた取り組みを行っています。平成28年6月定例会からアンケートを設置し、本会議の傍聴に来られた方に自由回答でご協力いただきました。結果の一部をお知らせします。



## 平成31年3月定例会から令和2年9月定例会までを集計

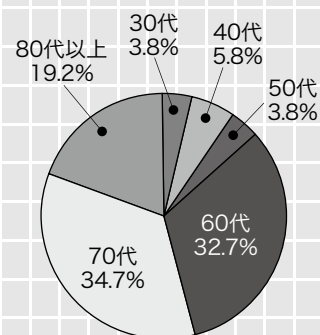
### ■住まい

地域	人数
庄原	33
西城	9
東城	3
口和	1
高野	3
比和	3
総領	0
市外	0
無記入	0
合計	52



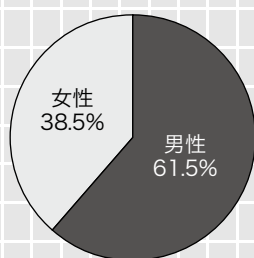
### ■年齢

年代	人数
20代以下	0
30代	2
40代	3
50代	2
60代	17
70代	18
80代以上	10
無記入	0
合計	52



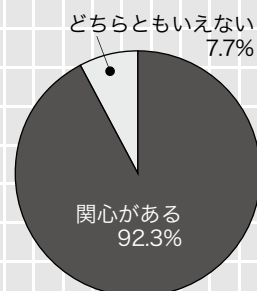
### ■性別

性別	人数
男性	32
女性	20
無記入	0
合計	52



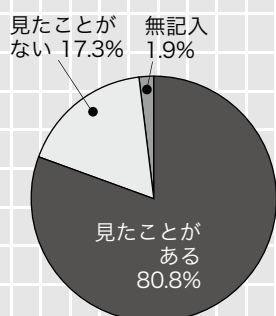
### ■市議会に関心がありますか。

回答	人数
①関心がある	48
②関心がない	0
③どちらともいえない	4
④無記入	0
合計	52



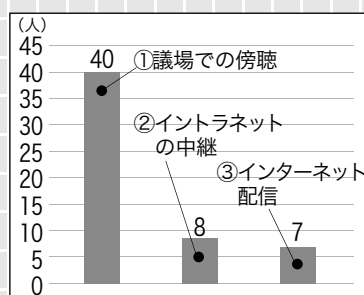
### ■以前に庄原市議会の会議をご覧になったことがありますか。

回答	人数
①見たことがある	42
②見たことがない	9
③無記入	1
合計	52



### ①見たことがある⇒何でご覧になりましたか。(複数回答)

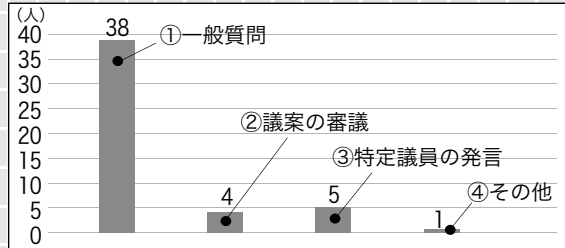
回答	人数
①議場での傍聴	40
②イントラネットの中継	8
③インターネット配信	7
合計	55



## 平成31年3月定例会から令和2年9月定例会までを集計

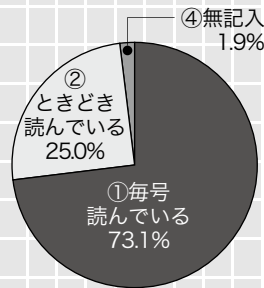
②どのような内容をご覧になりましたか。(複数回答)

回答	人数
①一般質問	38
②議案の審議	4
③特定議員の発言	5
④その他	1
合計	48



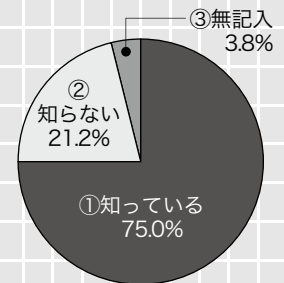
■議会だよりを読んでいますか。

回答	人数
①毎号読んでいる	38
②ときどき読んでいる	13
③読んでいない	0
④無記入	1
合計	52



■庄原市議会のホームページからアクセスできる「会議録検索システム」(過去の本会議録を検索できるシステム)をご存知ですか。

回答	人数
①知っている	39
②知らない	11
③無記入	2
合計	52

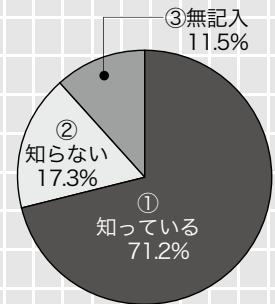


アンケートは今後も継続する予定です。ご協力お願いします。

感想から……  
 ☆一般質問の二問一答は傍聴する者に分かりやすく良いやり方だと思いました。  
 ☆傍聴することにより議場独特の雰囲気、ふるさとへの思いを実感しました。自分が出来ることをがんばりたいと思います。

■庄原市のホームページから議会の中継及び録画映像を視聴できることをご存知ですか。

回答	人数
①知っている	37
②知らない	9
③無記入	6
合計	52



## 本会議等の傍聴に関するお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本市議会では次のとおり対応しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

### 傍聴時の留意事項

◎発熱や咳等の症状がある、体がだるい等、体調がすぐれない場合は傍聴をご遠慮ください。(検温にご協力をお願いします。)

◎手洗いや咳エチケットなど、新型コロナウイルスへの感染防止対策にご協力ください。

◎万が一、本会議等の参加者から新型コロナウイルスへの感染が発覚した場合に備え、傍聴人受付票に記入をお願いします。

なお、本会議の様子は、YouTubeで配信しています。



庄原市議会のホームページから、議会中継を選択していただき、[庄原市議会](#) をクリックしてください。



令和2年

# 議会活動一年間

## ●本会議

回数		1	2	3	4	5	6	計
会議区分		定例会	臨時会	定例会	臨時会	定例会	定例会	6回
会期日数		26日間	19日間	18日間	1日間	30日間	40日間	134日間
開催日		2月21日、 3月12・13・ 16・17日	5月14日、 6月1日	6月9・22・ 23・26日	7月21日	9月3・23・24・ 25・30日、 10月2日	11月30日、 12月21日、 1月6・7・8日	—
審議案件	条例	15	3	4		4	8	34
	予算	33	4	3	2	10	9	61
	発議	1	2	2		1		6
	請願							
	その他	18	5	25		31	1	80
計		67	14	34	2	46	18	181
審議結果	原案可決	57	9	10	2	18	18	114
	修正可決							
	同意	10		24		10		44
	承認		5			1		6
	選任							
	許可							
	認定					17		17
	推せん							
	否決							
	請願	採択						
	趣旨採択							
	不採択							
	継続審査							
継続審査								
選挙								
議員出席率		100%	100%	100%	100%	100%	97.0%	99.5%

## ●常任委員会

常任委員会	区分	回数		出席率	
		開会中	閉会中	開会中	閉会中
総務	委員会	10回	4回	98.3%	100%
	調査会	—	—	—	—
教育民生	委員会	11回	7回	100%	97.6%
	調査会	—	3回	—	100%
企画建設	委員会	8回	6回	98.2%	100%
	調査会	—	4回	—	96.4%
予算決算	委員会	11回	2回	99.5%	97.4%
	調査会	—	—	—	—



## ●予算決算常任委員会 分科会

分科会	区分	回数	出席率
総務	令和元年度決算	4回	95.8%
	令和2年度予算	4回	95.8%
教育民生	令和元年度決算	4回	100%
	令和2年度予算	4回	100%
企画建設	令和元年度決算	4回	100%
	令和2年度予算	4回	100%

## ●その他

	回数	出席率
議会運営委員会	39回	97.4%
議員全員協議会	16回	98.8%
議会広報委員会	9回	100%

# 議会の動き

11・12・1月

## 11月

- 4日 議会運営委員会
- 5日 総務常任委員会
- 11日 教育民生常任委員会  
企画建設常任委員会(管内視察)
- 12日 議会運営委員会
- 18日 議員全員協議会  
総務常任委員会  
企画建設常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 30日 議会運営委員会  
第6回市議会定例会 **初日**  
総務常任委員会

## 12月

- 1日 教育民生常任委員会
- 3日 予算決算常任委員会

教育民生常任委員会  
企画建設常任委員会

- 10日 議会運営委員会
- 11日 議員全員協議会  
総務常任委員会
- 14日 教育民生常任委員会
- 17日 議会運営委員会  
総務常任委員会
- 21日 議会運営委員会  
議員全員協議会  
第6回市議会定例会 **2日目**  
議会広報委員会  
総務常任委員会
- 23日 教育民生常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 企画建設常任委員会

## 1月

- 6日 第6回市議会定例会 **3日目**
- 7日 第6回市議会定例会 **4日目**
- 8日 議会運営委員会  
第6回市議会定例会 **最終日**  
議員全員協議会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 教育民生常任委員会
- 28日 議会運営委員会  
議会広報委員会
- 29日 議員全員協議会  
教育民生常任委員会

## 3月定例会の主な日程(予定)

日にち	主な会議名
2月15日(月)	本会議
2月24日(水)	本会議
3月 5日(金)	本会議【一般質問(代表)】
3月 8日(月)	本会議【一般質問(個人)】
3月 9日(火)	本会議【一般質問(個人)】
3月12日(金)	本会議

※予定のため、変更となる場合があります。  
詳しくは議会事務局(TEL0824-73-1162)へお問い合わせください。  
本会議は、いずれも午前10時から開会の予定です。

本会議生中継映像をインターネット上で配信しています。  
録画映像もご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。

庄原市議会 中継 検索



## 《表紙写真の説明》



今回の表紙写真は、小奴可こども園と高野保育所の園児が雪遊びをしている様子です。

## 編集後記

昨年「コロナ」に始まり「コロナ」で終わったが、この状況がいつ終息するかは未定であり、私たちの生活環境も大きく変化せざるを得なくなっている。また、今年には久々の豪雪に見舞われ、全国的には驚異的な積雪を観測している。こういった状況下でも地球の温暖化は深刻さを増している。シベリアの永久凍土層から3年以上眠っていたウイルスの蘇生に成功したとの研究論文が発表されている。長期間潜伏していたウイルスの発見によつ

議会広報委員会  
委員長 谷口 隆明  
副委員長 赤木 忠徳  
委員 林 吉方 明美  
坂本 高正  
宇江田 義明 豊彦

て、凍土に葬られていた未知の病原体が地球温暖化で目覚める可能性があるという。コロナ感染防止とともに地球温暖化防止は人類の存続に大きな影響を及ぼし始めていることを私たちは考えなくてはならないのではないだろうか。  
(吉方 明美)